

建築 と 社会

Architecture and Society

10

No. 1147

2017

Vol. 98

特集予告

11月号
12月号
…
時間を軸に挑むクリエイター達
関西で木と生きる

今月の表紙

角屋

(1641)



京都・島原で1985年まで300年以上にわたり営業されていた揚屋。国指定の重要文化財建造物に指定されている。

通りに面して、水平にのびた軒と連続する格子がクールな表情をみせる。門をくぐると、一転して華やかで豊かな内部空間が広がる。多くの客をもてなすための巨大な台所を中心に、様々な趣向を凝らした客間や庭園があり、当時の栄華を偲ばせる。

その中でも圧巻なのは「扇の間」であろう。天井一面に貼られた扇面がその名の由来の客間である。壁の塗り壁は浅藍色に仕上げられており、その清涼感と頭上で乱舞する扇があいまって、フワリと浮遊するような空間になっている。

毎夜催されたであろう饗宴。そのきらびやかなひと時は、この美しい建築によって彩られていた。

(多田正治)

表紙写真
企画・編集

山羊 昇
多田正治

特集： 社会と繋がるディテール

■ポーラスな外壁を支えるウェブ・ウォール構造/NIFREL	北村仁司	12
■木質資源を最大限活用した、新たな公共空間の創出/ 真庭市落合総合センター	平野耐仁	14
■生産性のイノベーションを迫った構工法システム/ 市立吹田サッカースタジアム	奥出久人 浜谷朋之	16
■国内最大級の大型レンガを30万個手積みした超高層ツインタワー/ 中之島フェスティバルタワー・中之島フェスティバルタワー・ウエスト	吉田 聡 多喜 茂 小畑 香・陳雨青	18
■人・光・風と対話する スチール折板の可能性を追求したスポーツ施設/ 甲南高等学校・中学校 屋内スポーツ練習場	宮本聡子	20
■GRCパネルと象嵌ガラスによる“カワイイ”を発信するファサードづくり/ チュチュアンナグループ 本社ビル	森 雅章・花岡清勝・小西弘高	22
■内部のアクティビティが街にダイレクトに伝わる「街のリビング」/ 枚方T-SITE	牛戸陽治	24
■高さ8mを超える大型ガラスカーテンウォール パイプを貫通させた 合わせガラスリブの新構法/新ダイビル・本町南ガーデンシティ・ 関西外国語大学中宮キャンパス 7号館	多喜 茂・立花正敏	26
■環境技術を備えるランドマークタワー/西条市庁舎新館	高田英治	28
■患者の快適性とスタッフの看護効率を両立させる「雁行ICU型4床室」/ 久野病院	桑原悠樹	30
■大型SCにおける取り組み～ユニバーサルデザインのディテール～/ イオンレイクタウン「KAZE」	田中直人・老田智美	32
■体育館から大空間オフィスへ 制約をメリットへと転換するデザインメソッド/ 京都リサーチパーク アステラス製薬京都朱雀事業所	荒川 寛・音部正和	34

連載

会告	U-35委員会 展示企画&トーク企画のご案内 生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2017連携イベント (一社)日本建築協会 主催 大阪ガス(株)共催 石田潤一郎と佐野吉彦によるリレートーク『大阪ガスビルに託された夢ー白亜のビルと近代大阪』、第34回茶室見学会大徳寺狐籠庵「忘筌」	1
	一般社団法人 日本建築協会 片岡安賞(日本建築協会論考コンクール)第1回 募集要項	2
	第24回 会員作品特集号「私の空間作法」作品募集	3
	生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2017公式ガイドブック販売のお知らせ	4
作品作風	神戸ポートオアシス 神戸薬科大学 8号館	6 8
gallery	どこで生きる 平松克啓	10
法令コーナー	神戸らしい緑化 神戸市環境配慮条例に基づく 緑化基準の改正 古屋和昭	36
設備の頁	オフィス照明の最前線 藤井 梢	37
建築と社会を考える	災害後に行われる様々な建物被害調査 大西一嘉	38
information	国立新美術館開館10周年 安藤忠雄展ー挑戦ー TADAO ANDO: ENDEAVORS/連載50周年記念特別展 さいとう・たかを ゴルゴ13/京都国立博物館 開館120周年記念 特別展覧会 国宝/大英博物館 国際共同プロジェクト 北斎ー富士を超えてー/違反建築防止週間	42
月間の動き	平成29年 8月	44